

～中小企業の事業継続計画～

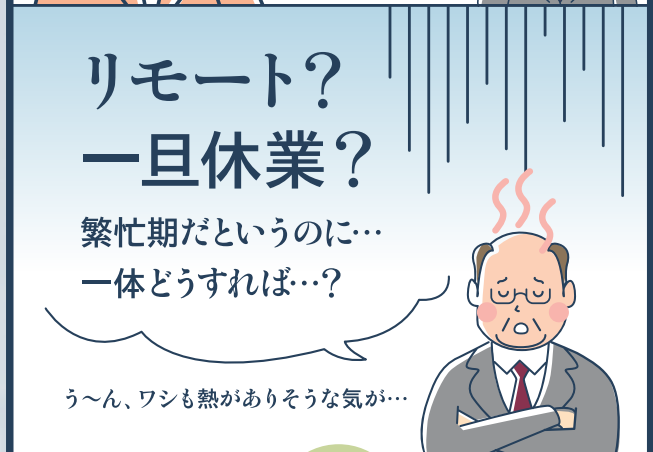
BCPのすゝめ

経営の未来を見据え、
災害・感染症から
生き抜く企業を目指す

大地震にBCPのすゝめ 篇



感染症にBCPのすゝめ 篇



今や万が一に備えての
企業経営は必須!

BCP策定に向けて第一歩を!

BCP【事業継続計画】とは

近年、自然災害の頻発化による被害や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う消費需要の低迷、サプライチェーンの寸断等により、多くの市内中小企業・小規模事業者が事業活動の抑制を余儀なくされ、これまで経験したことのない不測の事態に直面しています。

こうした状況の中、事業への影響を最小限に抑え、中核事業の継続と雇用の維持を担保するための対策としてBCP（事業継続計画）を策定しておくことが有効です。

※BCP = Business Continuity Plan の略

BCP策定の流れ



BCP策定のメリット

Merit

1

災害に強い企業になる

- お客様や従業員の命を守るために、何をすれば良いか分かります。
- 被害を小さくするために、何をすれば良いか分かります。
- 企業が災害を乗り越えるために何を行えばよいか、把握することができます。

Merit

2

企業価値や信頼が高まる！

- 「災害に強い企業」になるだけでなく、お客様、取引先、従業員や地域住民からの信頼が高まり、企業価値が高まります。
- 生活用品や食料品・衣料品などを扱う企業では、製品の需要が高まります。すぐに業務を再開し、地域住民へ貢献することによって、企業への信頼が高まります。

Merit

3

お客様からの要望に応えられる！

- 現在、大企業ではBCPが浸透しつつあります。そして、部品などの調達先となっている中小企業にも、BCP作成を要請する動きが出てきています。
- BCPを作成することで、継続した取引につながります。

BCPを策定して（事業者の目線）

BCP策定の きっかけ

当社は介護事業を主軸として運営しており、地域の高齢者の生活に密接に結びつくサービスを提供しているため、当社の事業が長期停止してしまうと多くの利用者の生活に影響を与えることとなります。

大地震の自然災害などの突発的な経営環境の変化により不測の事態が発生しても、人命を最優先とし従業員や利用者の安全と生活を守ることを前提とした上で、重要な事業を中断させない、または中断せざるを得なくなった場合であっても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等が必要だと感じていました。

策定後の 効果

当社の運営する各施設の具体的な被害想定から、今後当社が対応していくべき感染症対策や災害対策における課題が明確になりました。

また、中断できない重要業務等を洗い出すことにより、優先的に対応しなければいけない事業を再確認でき、それに対しての対策に具体性を持たせることができました。

これによって、今後行う訓練や研修において、より実態に即した形でシミュレーションを行うことができます。

【会社概要】 企業名／株式会社あさがお 所在／大分市大字曲832番地の8 従業員数／167名 業種／介護業

※令和3年度大分市中小企業者BCP等策定等支援補助金 活用

BCP取組状況チェック

あなたの会社の現在の事業継続能力を診断してみましょう。

以下の質問の「はい」に該当する項目にチェックを入れてください。

分類	設 問	は い
人的資源	緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための災害対応計画を作成していますか？	☒
	災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたの会社は従業員と連絡を取り合うことができますか？	☒
	緊急時に必要な従業員が出社できない場合に、代行できる従業員を育成していますか？	☒
	定期的に避難訓練や初期救急、心肺蘇生法の訓練を実施していますか？	☒
物的資源（モノ）	あなたの会社のビルや工場は地震や風水害に耐えることができますか？ そして、ビル内や工場内にある設備は地震や風水害から保護されますか？	☒
	あなたの会社周辺の地震や風水害の被害に関する危険性を把握していますか？	☒
	あなたの会社の設備の流動を管理し、目録を更新していますか？	☒
	あなたの会社の工場が操業できなくなる、仕入先からの原材料の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備していますか？	☒
物的資源（金）	1週間又は1ヵ月程度、事業を中断した際の損失を把握していますか？	☒
	あなたは、災害後に事業を再開させる上で現在の保険の損害補償範囲が適切であるかどうかを決定するために保険の専門家と相談しましたか？	☒
	事前の災害対策や被災時復旧を目的とした融資制度を把握していますか？	☒
	1ヵ月分程度の事業運転資金に相当する額のキャッシュフローを確保していますか？	☒
物的資源（情報）	情報のコピーまたはバックアップをとっていますか？	☒
	あなたの会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか？	☒
	主要顧客や各種公共機関の連絡先リストを作成する等、緊急時に情報を発信・収集する手段を準備していますか？	☒
	操業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか？	☒
体制等	あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、会社の事業活動がどうなりそうかを考えたことがありますか？	☒
	緊急事態に遭遇した場合、あなたの会社のどの事業を優先的に継続・復旧すべきであり、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか？	☒
	社長であるあなたが出張中だったり、負傷したりした場合、代わりの者が指揮をとる体制が整っていますか？	☒
	取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めていますか？	☒

災害が発生した時に備えて、事前に準備をすることが大切です。

まずは自社の取組状況をチェックして状況を把握し、一つ一つ取り組んでいきましょう。

BCP取組状況診断結果

左記の表で、「はい」に該当する個数を数え、下記の診断結果をご確認ください。

3個以下

今、緊急事態に遭遇したら、あなたの会社の事業は
長期間停止し、廃業に追い込まれるおそれ大です。
一からBCPの策定・運用に取り組んで下さい。
早急にできることから始めて下さい。



15個以下

緊急時に備える意識は高いようですが、**まだまだ改善すべき点が多い**といえます。実践的なBCPを策定し、平常時から運用を進めることが必要です。



16個以上

あなたの会社では、**BCPの考え方に則った取組みが進んでいる**ようです。会社のBCPをチェックし、より強力なものとするのが望まれます。



中小企業BCP策定運用指針(中小企業庁)

中小企業庁では、ホームページ上で「中小企業BCP策定運用指針」を公開しています。この指針は、中小企業へのBCPの普及を促進することを目的として、中小企業関係者や有識者の意見を踏まえ、中小企業庁が作成したものです。指針には、上記の「BCP取組状況チェック」のほか、中小企業の特性や実状に基づいたBCPの策定及び継続的な運用の具体的方法が、わかりやすく説明されており、経営者の考えを記入することによりBCPの策定が可能となっています。

<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>

中小企業BCP策定運用指針

検索